

## 流山市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

### 1. 理由

上位法令である介護保険法施行規則が、全国的な専門職の人材確保が困難であることにより一部改正された。このことを踏まえ、本市においても、地域包括支援センター運営協議会が必要と認めるときは、地域包括支援センターの人員を「常勤換算方法」により換算された員数をできるように改正を行うものである。

### 2. 常勤換算法の考え方について

(例) X地域包括支援センター

(第1号被保険者数 5,000 人、所定労働時間 月 160 時間の場合)

(現行)

(雇用形態)	A (常勤)	B (常勤)	C (常勤)
職種	社会福祉士等	保健師等	主任介護支援専門員等
勤務時間	160	160	160

上記のような雇用形態で条例の配置基準(3 職種 1 名ずつ)を満たす。

(改正後)

(雇用形態)	A (常勤)	B (常勤)	C (非常勤)	D (非常勤)
職種	社会福祉士等	保健師等	主任介護支援専門員等	主任介護支援専門員等
勤務時間	160	160	100	60

上記のような雇用形態の場合、現行において当該地域包括支援センターでは、主任介護支援専門員等が不足した状態となるが、改正後の常勤換算法を用いることにより、以下のような員数と考えることができるため、基準を満たすものと考えられるようになる。

- ・ 社会福祉士等 1 人
- ・ 保健師等 1 人

勤務形態が非常勤のものについては、

(職種ごとの勤務時間の合計数) ÷ (所定労働時間) として考える

- ・ 主任介護支援専門員等  $(100 + 60) \div 160 = 1$  (人)

合計常勤換算職員数 3 人